

広

市民の生活情報誌

報

# あきた

2012 平成24年  
1月6日号

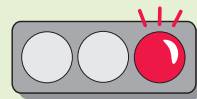
NO.1760 毎月第1・第3金曜日発行



秋田市指定無形民俗文化財の「山谷番楽」の伝統を受け継ぐ  
山谷小学校のみなさん

◆新春市長コラム日々初心  
勢いある1年に

◆特集  
減災(げんさい)  
地震が起きる前・起きたとき・起きた後



減量目標の達成に  
向けて今年も  
ご協力ください

## エコアちゃんの ごみ減量速報



環境都市推進課 ☎(866)2943

家庭系ごみの排出量 (資源化物を除く)

今年11月の 家庭系ごみ排出量		5,768 トン (昨年同期より614トン減)
1 人 1 日 当 た り	減量目標 (平成24年度まで)	556 グラム
	4月~11月の 排出量累計から算出	624 グラム
目標との差		68 グラム (ティッシュの空箱2個分)

編集発行 ● 秋田市広報広聴課

# 勢いある1年に 秋田市長 穂積 志

市民のみなさん、新しい年を迎え、  
 どうお過ごしでしょうか。風邪など  
 ひいていませんか。

今年2012年の干支は、十二支  
 の中でも唯一、想像上の動物である  
 辰。この「辰」の字には「振るう」と  
 いう意味もあり、陽気が動き、草木  
 が伸長する状態を表しているそうで  
 す。雪国に緑が萌え生ずる春がやっ  
 て来るのはまだ先で、つつい家の  
 中に閉じこもりがちになりますが、



冬の千秋公園を散歩してみるのもいいですね。

冷たい、しかし引き締まった冬の空  
 気を吸いに、新年の散歩がてら外に  
 出してみるのもいいかもしれません。  
 四季それぞれが鮮明なのもまた秋田  
 の良さです。

みなさんにとって今年1年が家内  
 安全、無病息災、商売繁盛の1年、  
 さらに「昇り竜」のごとく勢いある  
 1年となるよう願っております。

## 大震災からの 復旧・復興を祈る

さて、昨年を振り返ってみますと、  
 サッカーの日本女子代表「なでしこ  
 ジャパン」によるワールドカップ初  
 優勝といった喜ばしいニュースの一  
 方で、未曾有の大災害となった東日  
 本大震災がありました。

三陸沖を震源としたマグニチュー  
 ド9.0という、わが国観測史上最  
 大規模となった地震は巨大津波を引  
 き起こし、東北地方の太平洋沿岸部  
 に壊滅的な被害をもたらしたほか、

多くの尊い命が失われました。地震  
 と津波による直接的な被害に、原子  
 力発電所の事故に伴う放射性物質の  
 漏れいや電力不足なども加わり、年  
 が明けた今もその影響は依然として  
 多方面に及んでいます。

押し寄せる濁流に流される家や  
 車、基礎部分だけが残る住宅の跡な  
 どは、みなさんもテレビのニュース  
 でご覧になったとおりです。私も5  
 月に釜石市と多賀城市を訪問して被  
 災地の惨状を目の当たりにしまし  
 が、震災の傷跡は想像をはるかに超  
 えており、復旧・復興には長い道の  
 りが必要であると、今でも痛切に感  
 じています。

本市では、震災発生直後から救援  
 物資の搬送や避難者の受け入れを行  
 うとともに、被災地に500人近い職員  
 を派遣して、避難所の運営や災害救  
 助、ライフラインの復旧などを支援  
 してきました。また、被災されたか  
 たを勇気づけるため、竿燈披露など  
 の招待や被災地での竿燈披露なども  
 行ってきたところですが、同じ東北

平成23年のできごと



地震発生直後に開いた災害対策  
 本部会議(3月11日)



年始めの定例記者会見(1月7日)



地方の一員として、一日も早い復興・復興に向け、今後でもできる限りの協力を応援をしていきたいと考えています。

## 大災害に 負けないまちに

今回の大震災では「想定外」という言葉がたびたび使われましたが、本市としても日本海側で同じような規模の地震と津波が発生した場合を

想定する必要があります。そのため、短期的に整備するものと中長期的に整備するものを整理し、対応できるものについては速やかに対策を講じてきました。

例えば、災害発生時の有効な情報伝達手段であるラジオを活用して、市や県警本部が収集した災害情報・市の業務に関する情報を優先的に放送してもらうための協定を地元ラジオ局と結びました。また、市の海岸線全域を津波警報の伝達可能範囲とするための津波警報サイレンの補強整備や、避難所となる地域センターやコミュニティセンターなどへの発電機の配備なども行いました。

い災害にしっかりと備えること、そして今回の記憶を決して風化させないことが私たちの使命であると考えています。

## 改めて“絆”の 大切さを知る

震災後、生まれ育った土地を離れ、いまだに帰ることができないかたが数多くいらつしやいます。改めて故郷や家族、そして地域の絆の大切さが見直され、「人は一人では生きていけない。誰かに支えられて生きている」ということを実感されたかたも多いのではないのでしょうか。

私が被災地を訪問した際、今までに見たことがないほど数多くの自衛隊車両と行き交いました。停電で信号が消えたままの交差点では全国各地から応援に駆けつけた警察官が懸命に交通整理にあたっていました。そして、泥だらけになりながら家具などを片付ける何百、何千のボランティアのみなさん。国内外からの有形無形の支援は、被災されたかたにとってどんなにありがたく、心強かったことでしょう。

また、震災後に「結婚したい」と考えるようになった未婚女性が3割



昨年3月11日・12日の秋田市内。信号が消えて渋滞が発生し、道路には陥没も。アルヴェには多くの避難者が…。

「天災は忘れた頃にやってくる」「備えあれば憂いなし」…。いつ起こるか分からない



釜石市を視察(5月19日)



被災者支援メッセージボードを千秋公園に設置(4月20日)



相馬市への救援物資を積み込み(3月29日)



を超えたという調査結果がありました。婚姻率の低下や晩婚化が進む中、大きな災害に直面し、「人との絆を持ちたい」「誰かにそばにいてほしい」という思いが強まったことがその背景にあるのかもしれない。

久しぶりに家族が集まり、にぎやかなお正月を迎えられたご家庭も多いと思います。家族の絆、地域の絆、そして人とのつながりをこれまで以上に大切にしていきたいものです。

## 成長プラン始動。 秋田を元気に

さて、昨年、平成23年は本市の将来ビジョンとなる新たな総合計画「県都『あきた』成長プラン」のスタートの年でした。この計画では、「秋田市を元気にしたい」という私の思いを込めて、めざすべき将来像を「ともにづくり」ともに生きる

人・まち・くらし」と定めています。

計画の最大の特徴は、元気な秋田市を創造するとともに、元気を支える基盤づくりに向けて本市の地域特性や人的・物的資源などを最大限活用した6つの「成長戦略」を新たに設定したことです。①都市イメージ「ブランドあきた」の確立、②地域産業の競争力強化、③観光あきた維新、④環境立市あきたの実現、⑤エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)の実現、⑥次世代の育成支援、これらの成長戦略に予算や人員などを一体的かつ集中的に投入し、重点的な取り組みを進めていきますので、その一端をご紹介します。

### にぎわいの創出

これまで県や地元業者などと連携して進めてきた、中通一丁目地区の再開発事業が今年ついに完成し、日赤・婦人会館跡地一帯が商業と文

# 温かいまち、故郷として 誇りと愛着を持てるまち をめざす



「エリアなかいち」の完成予想図。右はマスコットキャラクターの与次郎です！



化、そして都市居住を軸とする多世代交流の場「エリアなかいち」として新たに生まれ変わります。「秋田市にぎわい交流館AU(あう)」も交流や市民活動の場としての役割を担います。

中通や大町、通町地区などの中心市街地が「かつてのにぎわいを取り戻し、多くの人々が行き交い、活気にあふれた街」になるよう、魅力ある秋田市の顔づくりを進めます。

### 循環型社会の形成

震災直後の長時間にわたる停電で、私たちがいかに電気に依存した生活を送っているのかを改めて考えさせられました。また、原子力発電の安全神話も崩れ、エネルギー政策の見直しを余儀なくされています。



岩手県宮古市のみなさんを竿燈まつりに招待(8月3日)



上北手中谷橋の渡り初め式(7月23日)



仙台市で東北六魂祭(7月16日)

本市では、太陽光や風力、バイオマス(木材資源など)などの自然エネルギーの市内施設への導入やIT技術の高度利用などによりエネルギーを最適なバランスで使い、併せて、民間企業と一緒に取り組みを進めることで地域経済の活性化へも結びつける「あきたスマートシティ・プロジェクト」を推進しています。

また、今年7月からは家庭系ごみの有料化制度もスタートします。一人ひとりがごみの減量をはじめ、環境に配慮したライフスタイルを心がけ、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から、持続可能な資源循環型社会に転換していく契機になればと考えていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



自然エネルギーの有効活用が求められています

## 超高齢社会を見据えて

秋田県の高齢化率は全国で最も高くなっており、本市でもすでに4人に1人が65歳以上の高齢者となっています。

本市はWHO(世界保健機関)が提唱するエイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)の実現に向け、昨年11月、世界37都市が参加するWHOのグローバルネットワークに参加しました。今後、WHOの支援を受けながら、参加都市と情報を共有し、継続的な取り組みを進めます。わが国が世界でも例を見ない超高齢社会に突入する中、高齢化をプラスにとらえた新たな都市モデルを構築していきたいと考えています。

## 明るい未来を支える子どもたち

高齢化が加速する一方で、少子化もまた進んでいます。少子化による生産年齢層の減少は経済活力の低下や雇用環境の悪化、若者の流出などにもつながります。少子化の要因は晩婚化や非婚化、価値観の多様化などさまざまであり、抜本的な解決策があるわけではありませんが、まずは子どもを生みたいと思える社会、

育てやすい環境から整備していく必要があります。

私の公約の一つである「保育所持機児童の解消」は昨年達成することができましたが、少子化対策を未来への投資と捉えて、社会全体で子どもや子育て家庭を応援するとともに、少子化を後押しする要因や子育ての不安を取り除いていくことが肝要です。

子どもたちの明るい声があふれるまち、子どもを生み育てやすい社会をめざして、取り組みを進めます。

社会経済情勢がめまぐるしく変化する激動の時代ではありますが、変わらないもの、そして、変えてはいけないものもあるはずで

老若男女すべての市民が互いにつながりを感じられる温かいまち、そして、誰もが故郷として誇りと愛着を持てるまちをめざして、「ともにつくり ともに生きる 人・まち・くらし」の実現に向けて邁進してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



中国・南寧市と経済貿易協力に関する覚書を交換(10月22日)



高齢者コインバス開始式(10月1日)



自殺予防キャンペーン(9月9日)



# 減災

日頃の備えが  
大事だよ!



世界でも有数の地震国、日本。  
地震被害の発生を想定した上で  
できるだけ被害を小さくする「減災」という考えが広まっています。  
地震に対する備えは万全ですか？  
地震が起きたときの身の守り方や、おさまった後の適切な行動は知っていますか？  
できることから今すぐに実践しましょう。

■地震が起きる前…7ページ  
(日頃の備え)

■地震が起きたとき…8ページ

■地震が起きた後…9ページ



切り取り

## 非常持出品(★印)と備蓄品

水	★ペットボトル 500ml	携帯トイレ	敷物 (ビニールシートなど)
	備蓄用の水 (1人1日3ℓ)・水筒	トイレトーパー	★ビニール袋
食料品	★非常食 (ゼリー飲料・菓子類)	★洗面道具 (旅行用で可)	★筆記用具、メモ帳
	インスタント・レトルト食品	せっけん、シャンプー	予備の眼鏡
食事用具	缶詰 (缶切り不要のものが便利)	★ティッシュ、ウエットティッシュ	ホイッスル (救助用)
	保存期間 2年～5年の食品	除菌スプレー	★現金 (小銭も)
衣類	★皿・コップ (紙やプラスチック製)	生理用品	★運転免許証や健康保険証など
	缶切り、ナイフ	★携帯ラジオ (予備電池も)	★通帳、印鑑、権利書 (袋にまとめる)
医薬品	★上着、下着	★懐中電灯 (予備電池も)	粉ミルク、離乳食、哺乳瓶
	★帽子、ヘルメット	★携帯電話の充電器	紙おむつ、お尻ふき
清潔維持用品	毛布	使い捨てカイロ	入れ歯
	★雨具	マッチ、ライター	
小物類	ガーゼ、包帯、ばんそうこう、三角巾	ポリタンク	
	★常備薬 (おくすり手帳も)	スリッパ	
貴重品		★軍手	
		ロープ、ガムテープ	
その他			

# 地震が起きる前

いちばん大切なことは  
日頃の備え

“その時”に  
落ち着いて  
行動できるよう  
家族で話し合おう

● 連絡方法や集合する場所  
を決める

※ひとり暮らしのかたも家  
族・友人との連絡方法を  
決めておくとう安心です。

● 災害用伝言ダイヤルやパ  
ソコン・携帯電話の災害  
用伝言板の使い方をみ  
なで確認する

● 火を始末する係や非常持  
出

● 出品を持つ係を決める  
地域の危険箇所や避難場  
所・経路を確認する

家の危険箇所を  
確認しておこう

● 家具が倒れ  
ないように

市販の転倒  
防止グッズ  
などを使う



● ストープは耐震装置が付  
いているものを使う

● 就寝中は無防備です。寝  
室には家具をなるべく置  
かないように

● 秋田市では家の耐震診  
断・改修の費用を補助す  
る事業を行っています。  
詳しくは建築指導課へ。

☎(866)2153

少なくとも  
3日分の備蓄品を

災害発生直後は食料や日  
用品の入手が難しくなりま  
す。右ページの非常持出  
品・備蓄品リストを参考に  
各家庭に必要なものを準備  
し、いざというときにすべ

持ち出せるように  
しましょう。また、  
中身は定期的な点  
検しましょう。

飲料水▼1人1日  
3リットルを目安に、家  
族の人数に合わせて  
ペットボトルなどで準備  
する

食料▼インスタント食品や  
缶詰、レトルト食品などを  
準備する



停電で調理できない場  
合があります。簡単に  
食べることができるも  
のを準備しましょう。

## 防災ネットにご登録を！

「防災ネットあきた」は、事前に登録したメ  
ールアドレスに、Eメールで地震情報や避難勧  
告などが届く情報提供システムです。登録は無  
料ですが通信費は登録したかたの負担です。

登録は市ホームページから

<http://www.city.akita.akita.jp/city/gn/ds/system>

携帯電話▶<http://www.city.akita.akita.jp/i/gn/ds/s/1.htm>



家族との  
連絡方法  
は？

非常持出  
袋は誰が  
持つの？



避難場所  
への行き  
方は？

はぐれた  
ら、どこ  
に集合？

### “生きる”ための準備を

「何よりも水と懐中電灯が必要  
です。震災の時、救助や支  
援物資が来るまで3日かっ  
たので、水は本当に3日分は必要です。  
懐中電灯は電池の大きさを統一して、  
各部屋と玄関に置くといいですよ」

…そう話してくれたのは、秋田駅前の  
被災地物産店“EAST BLUE(イースト・  
ブルー)”を手伝いに来ていた宮城県気仙  
沼市の島山建さん(左)、武田高明さん(中  
央)、小野寺信行さん。津波で自宅が流  
されるなど、それぞれ被害を受けました。







### 身の安全が第一。 消火はその後で

大きな揺れの最中に無理に火を止めるのは危険です。まずは身の安全をはかり、揺れがおさまってから火を止めましょう。もし火災が発生しても火が小さいうちは水バケツなどで消火できるので、落ち着いて行動しましょう。



秋田消防署  
高橋 戒 消防士

- 落下物から身を守る
- ・ クッションや座布団、布団、枕など身近な物で頭を守る
- ・ 机の下などに身を隠す
- ・ ガラスの破片などでけがをしないように履き物を履いて行動する
- 火を使っているときは、安全を確認してから消す
- 家の中に閉じ込められないようドアを開けて出口を確保する

- 落下物や倒壊物から身を守る
- ・ カバンなどで頭を守る
- ・ 建物から離れ、看板や外壁などの落下に注意する
- ・ ブロック塀、自動販売機から離れる
- ・ 倒れそうになった電柱や垂れ下がった電線に近づかない
- 地割れや陥没箇所には近づかない



陥没に注意

### 車を運転しているとき



- ハンドルをしっっかり握り、急ブレーキはかけず、徐々に速度を落とす
- 交差点には停車せず、道路の左側や広場などに停車し、エンジンを止める
- カーラジオで情報を確認
- 緊急車両通行の妨げになるので、車で避難しない

鍵は付けたままで!



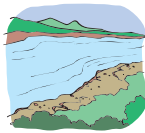
車を左側に寄せ、徒歩で避難を

# 地震が起きたとき

自分の身は自分で守る

### 山や川にいるとき

- できるだけ遠くから遠くに逃げる
- 過去に山崩れやがけ崩れがあった場所を通らない
- ※ 丘陵地や造成地でも、地割れやがけ崩れが起こる危険性があります。
- 川岸や谷底からできるだけ遠く離れる
- ※ ダムやため池などが決壊し「山の津波」が発生するおそれがあります。



### 海にいるとき

- 揺れていなくても津波警報やサイレンを聞いたらすぐに避難する
- 建物に避難する場合は、鉄筋コンクリートなど頑丈な建物の3階以上へ
- 津波は二度、三度と押し寄せる可能性があるため、警報が解除されるまで海岸に近づかない



サイレンが鳴ったらすぐに避難しましょう

“一番怖いのは「津波」。  
すばやく高い場所へ避難を”







災害時は、さまざまな情報が飛び交います。デマに惑わされず、正しい情報を！

●ラジオで災害情報を放送  
市と協定を結んでいる(株)エフエム秋田と(株)秋田放送は、大きな災害が起きたとき、市と秋田県警察本部が収集した災害情報をラジオ(エフエム秋田82・8MHz、ABSラジオ93.6kHz)で優先的に放送します。



# 地震が起きた後

情報収集と適切な行動

(写真は茨島七丁目町内会の避難訓練)

## 正しい情報を入手しよう

## 声をかけ合い安全に避難

災害時の避難場所・施設として、学校、公園などの公共施設を指定しています。昨年、市内全戸に配布した「秋田市民便利帳」や市ホームページでも確認できます。

<http://www.city.akita.akita.jp/city/gn/ds/>

●避難時の服装…ヘルメットなど頭を守るもの、長そで、長ズボン、底の厚い靴、軍手

●避難時の注意点  
・ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉める



### 地域の絆で災害時も協力を

榊表町内会では平成20年に自主防災隊を結成しました。災害時の連絡網を決めたり、公民館に防災用品を設置したりして災害に備えています。いざというときに必要なのは助け合いの心、そして地域の絆。町内会の人たちと一緒に山菜採りに行くなど、ふだんから絆を深めています。



榊表町内会の  
大野正平さん  
(河辺)

・車は使わず徒歩で  
・非常持出品を忘れずに  
(リュックなどを使い、両手を空けておく)  
・狭い道、塀際、川べり、  
がけを避けて歩く



### 地域で助け合い被害を最小限に

隣近所の協力は大きな力になります。特に、災害弱者といわれる高齢者や障がい者、乳幼児、外国人とふだんから交流し、助け合いましょう。

現在680の町内会で結成されている「自主防災組織」は、防災訓練や防災資機材の整備などを行い、地域防災の重要な役割を担っています。市では防災資機材の助成や、研修会に職員を派遣するなどの支援を行っています。詳しくは防災安全対策課へお問い合わせください。☎(866)2001

## 謹賀新年

今年もよろしくお願ひいたします

市議 副市長  
市議 議長  
市議 議員

- |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 赤坂 | 相原 | 渡辺 | 相田 | 花田 | 芦田 | 佐原 | 小原 | 加賀 | 小原 | 鎌田 | 工藤 | 齊藤 | 鳥居 | 小野 | 堀井 | 石井 | 岩谷 | 渡辺 | 菅原 | 今川 | 齊藤 | 小松 | 伊藤 | 佐藤 | 倉田 | 佐藤 | 伊藤 | 津川 | 川口 | 見上 | 松田 | 長澤 | 工藤 | 佐藤 | 鈴木 | 成木 | 小田 | 石井 |
| 光一 | 政志 | 良雄 | 金二 | 清美 | 晃夫 | 孝夫 | 一千 | 鶴子 | 修一 | 四善 | 明修 | 秀誠 | 政美 | 正博 | 琢良 | 雄哉 | 一策 | 健勝 | 巧一 | 哲治 | 芳浩 | 純一 | 宏雅 | 万里 | 豊臣 | 孝政 | 新久 | 広一 | 淳知 | 喜美 | 周悦 |    |    |    |    |    |    |    |

大森山動物園の冬期開園

# 雪の動物園

1月7日(土)～2月26日(日)の  
土・日、祝日のみ開園

午前10時～午後3時  
(入園は午後2時30分まで)

昨年  
から  
午前10時  
開園に！

入園料

300円(中学生以下は無料)  
年間パスポート(1,200円)も使えます

人気のまんまタイムやエサやり体験、飼育員  
による動物解説も随時開催します。詳しくは、  
動物園内の掲示板やホームページを見てネ！



大森山動物園 ☎(828)5508

大森山動物園

検索

★冬期開園中、動物園内の売店と食堂は遊園地  
内のものを除きすべて営業します。



冬のゾウもはしゃぐ。  
大森山。